



台東区

面積10.11km ²
世帯数125,157世帯
人口204,431人 (うち外国人).....13,783人
予算1,059億円
職員数1,935人

歴史・見所・名所

台東区は、昭和22(1947)年3月15日に下谷区と浅草区の合併によって誕生しました。区の名称は「ダイトウ」と濁らず「タイトウ」と発音します。

『台』は「台覧」や「台臨」という言葉のように、もともと気品の高い文字で、『東』は「日出ずるところ」であり、日の出の若さや力強さを象徴します。これらのことから「台東」という文字は、「めでたい」「気品」「若さ」「活気」を意味します。

また、『台』は「臺」の字に通じ上野の高台、『東』は上野台の東に位置する浅草といった区の地勢を表しています。このように「台東区」という区名には、文字そのものの意味と地勢的な意味の二つが込められています。

台東区は、東京の北の玄関として交通の要所になっているほか、都内初の世界文化遺産である「国立西洋美術館」などの豊かな文化資源を有し、四季折々の多彩な行事を通じて多くの来街者があります。

〔観光〕 上野公園(寛永寺・動物園・博物館・美術館・不忍池)、浅草寺、雷門 など

〔イベント〕 浅草流鏑馬・三社祭・入谷朝顔まつり・ほおずき市・隅田川花火大会・浅草サンパカーニバル・西の市 など



台東区役所



上野(国立西洋美術館)

平成28(2016)年7月のユネスコ世界遺産委員会において、都内では初となる世界文化遺産への登録が決定しました。



谷中(谷中銀座商店街)

くらしに密着したお店が軒を連ねる商店街です。約60軒のお店が集まり、下町の活気と人情を味わうことができます。

概要

台東区は、23区のおおぼ中心に位置し、西は上野の山で、東は隅田川に接しており、23区のおなかで最も小さい面積となっています。

江戸から東京へと続く豊かな歴史と文化を受け継ぎながら、産業・観光・文化の拠点として栄えてきました。まちには多彩な個性があり、商業施設や交通機関が集積し利便性が高いまち、受け継がれてきた歴史と伝統が生きているまち、伝統的な産業の活動が活発なまちなどさまざまな姿があります。また、年間5千万人以上の観光客が訪れる国内有数の観光都市でもあります。

区の人口は、昭和35(1960)年に最多となる約32万人に達しましたが、高度経済成長期からバブル経済期を経て以降一貫して減少を続け、平成7(1995)年には約15万人にまで減少しました。平成7(1995)年からは、人口の都心回帰を受けて一貫して増加を続けており、平成31(2019)年3月には、約42年ぶりに20万人を超えています。

主要課題・将来展望

【基本構想】

平成30(2018)年10月に策定した基本構想において「世界に輝くひと

と まち たいとう」を将来像に掲げ、将来像を実現するための目標である4つの「基本目標」及び、区政運営の基盤となる考え方を示した「多様な主体と連携した区政運営の推進」に基づき、それぞれの取組みを推進しています。

○あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現

- ・子供達が笑顔にあふれ、のびのびと育ち、地域全体でその成長を温かく見守るまちを実現します。
- ・学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、未来を担う子供達が、多様化・国際化する変化の激しい社会に対応し、創造性豊かに、たくましく生きる力を身に付けられる教育を推進します。
- ・学んだ成果を社会に活かし、生涯にわたって誰もが生きがいのある心豊かな生活を享受できるまちを実現します。

○いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現

- ・区民や地域と一体となって、生活の質の向上と健康寿命の延伸を目指し、誰もが安心して、健やかに過ごせるまちを実現します。
- ・地域と連携して、区民一人ひとりの尊厳を守るとともに、誰もが社会の大切な一員として生きがいを持って活躍し、自分らしい生活を営める環境を創出していきます。

○活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現

- ・文化の力を最大限に活かして、人々の心豊かな生活を実現し、まちの魅力と活力を向上させます。
- ・企業の持続的な成長と、多種多様な産業の集積を一層向上させて区内産業の更なる振興を図ります。
- ・世界に冠たる観光都市として、世界中の人々を惹きつけるとともに、区民との相互理解を促進させて、誰もが満足し、持続的に発展し続ける質の高い観光地を形成します。そして、観光の力を活かし、区民生活の更なる向上を図ります。

○誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現

- ・地域ごとの特色を活かして、個性豊かな街並みや、まちの活力を創出していきます。
- ・地震・水害をはじめとする災害や犯罪の危険から、区民や来街者の生命と財産を守り、まちの安全安心を確保していきます。
- ・地球環境に優しい社会への転換を一層進め、区内の自然を次世代へ継承し、誰もが住みよい、快適で潤いのある都市環境を創出していきます。

○多様な主体と連携した区政運営の推進

平和で、多様な人々が活躍できる地域社会を築き上げ、区民や地域で活動する団体、国内外の都市や地域など多様な主体と協働・連携していくほか、持続可能な行財政運営に取り組んでいくことが重要です。

【都市交流事業】

本区では、姉妹・友好都市をはじめとする全国各地の自治体が、特産品の販売や観光案内、移住促進PR等ができる場所を千束通り商店街に開設し、商店街への誘客を促進するとともに、地元での交流を通じ互いの地域の活性化を図ることを目的とする「ふるさと交流ショップ」事業を展開しています。



浅草(浅草文化観光センター)
日本政府観光局(J.N.T.O)で最高ランクのカテゴリⅢの観光案内所に認定されています。



台東区南部(モノマチ)
「モノマチ」は、古くから製造/鉾の集積地としての歴史をもつ台東区南部の徒蔵(カチクラ)エリア(御徒町~蔵前~浅草橋にかけての2km四方の地域)を歩きながら、「町」と「モノづくり」の魅力に触れていただくイベントです。



旧東京音楽学校校舎楽堂
東京藝術大学音楽学部の前身の東京音楽学校の校舎施設として、明治23(1890)年に建築されました。昭和62(1987)年に現在の地へ移築・復原し、一般公開しています。本館は日本最古の洋式音楽ホールとして国の重要文化財に指定されています。